

食事からの健康長寿と認知症予防

1/17

小長井で高齢者の栄養教室を開催

小長井区のいきいきサロンにおいて「認知症を予防する食事の取り方」と題した栄養講習会が開催されました。

講習会では普段の食事の中での栄養とその効果、食事の持つ脳への影響についての説明があり、「楽しい食事と豊かな食生活を続けることが認知症の予防や改善につながっていく」と話しました。

その後は、ものをしっかりと食べるための体操指導を行ったほか、健康に必要な栄養を得ることができるよう、楽しく昼食をとり、教室を締めくくりました。



●紙芝居やイラストを使った説明が行われました。

1/19

地域の連携で文化財を守る

徳山区で文化財防火訓練を実施

第65回文化財防火デーに合わせ、徳山区の町指定有形文化財「愛宕地蔵堂」において、防火訓練が実施されました。

訓練には愛宕地蔵世話人会、島田消防署、町消防団、徳山区自主防災会ら関係者約50人が参加。付近での出火が地蔵堂に延焼する恐れがあるとの想定のもと、地区住民による通報、初期消火、消防隊および消防団による一斉放水が行われ、手順の確認を含め消防活動のスムーズな連携を心がけた訓練となりました。

今回の訓練に参加した徳山区の長濱寛二郎さんは「地区だけではこれだけの訓練はできないのでありがたい」と話しました。



●火点へ向けて放水する消防隊員

地域資源の活用を考える

1/20

ジビエを使用したアイデア料理の体験試食会を開催

千頭駅前において、商工会主催によるイノシシやシカを活用したジビエ料理の体験試食会が開催され、町内3つの飲食店がそれぞれ考案した5種類の料理が振る舞われました。

会場には町内外から多くの方が来場し、開始から1時間ほどで用意した料理がなくなってしまうほどの大盛況となりました。

また、今回の試食会では来場者にアンケートを実施。提供した料理の感想やジビエに関する意見などをもとにした商品開発など、新たな展開が期待されます。



●振る舞われた料理はどれもおいしいと好評でした



地元の声援と世界への夢を形に

池本夢実選手 凱旋試合



2月10日(日)、本川根B&G海洋センターにおいて、日本女子プロボクシングフライ級チャンピオンである池本夢実選手の凱旋試合が行われました。

この試合は昨年3月、池本選手がフライ級初代チャンピオン獲得後に凱旋帰郷した際、町の多くの人から「試合を見てみたい」という声を受け、「地元のおじいちゃん、おばあちゃんに自分の頑張りを見せたいし、へき地でも関係なく夢を叶えることができる子どもたちに伝えたい」という選手本人の気持ちも、所属する琉球ジム、協賛企業、世界タイトルを目指すために発足した後援会「夢実隊」が汲み実現しました。

ボクシングの地方興行はハードルが高いと言われていますが、琉球ジム、後援会がチケット券売に奔走し、協賛企業の1社はクラウドファンディングでの運営資金調達を提案、

大きな目標ではありませんでしたが見事達成し、開催を実現しました。選手を知る町内の企業、商店などの協力もあり、会場となった海洋センター体育館に設けられた約700の観客席は満員、立ち見の出る盛況ぶりでした。

池本選手は全6試合のうちメインイベントとしてフィリピン出身で女子東洋太平洋フライ級3位のグレル・デ・パズ選手と対戦、終始試合をリードする展開で8ラウンドを戦い抜き、3対0の判定で勝利しました。

試合後、選手自身から「川根本町での試合開催は難しいと思っていた。実現させてくれた町の人たちにお礼を言いたい」と感謝の気持ちを述べました。

選手はこの春、沖縄県警への就職が決まっていますが、世界タイトル獲得への夢も追いつけていきます。さらに大きな夢が実るよう、みんなで応援しましょう。

- ①当日は男子4試合と女子2試合が行われました
- ②応援に駆けつけたお年寄りの皆さん
- ③ラウンドガールは川根高校生のほか日本空手松涛会の皆さんが担当
- ④試合の合間にはエキシビジョンとしてダンスの披露や空手の演武が行われました
- ⑤今回の試合はチャリティーとして行われ、収益金の一部が川根本町に寄付されました